

寄居町生活交通ネットワーク計画（案）
（地域内フィーダー系統確保維持計画）

寄 居 町

目 次

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性	1
2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果	5
3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び 運行予定者	7
4. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額	10
5. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要	11
6. その他	14
(1) 協議会開催状況	14
(2) 利用者等の意見の反映	15
(3) 協議会メンバーの構成	16

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

(1) 目的

本町は、埼玉県北西部の都心から 70km 圏に位置し、面積は 64.17 平方 km であり、自然環境が豊かで県立長瀨玉淀自然公園に指定されている。また、昭和 55 年に開設された関越自動車道花園インターチェンジを玄関口に、国道 140 号と 254 号、JR 八高線・東武東上線・秩父鉄道線が結節する交通の要衝地である。バス交通は、県北都市間路線代替バスが 2 路線運行されているほか、東秩父村営バスが本町に乗り入れている。

本町は、面積が広大で町域の約 25% が山林であることから、鉄道やバス路線だけではカバーしきれない、いわゆる交通不便地域が点在している。また、平成 22 年の国勢調査結果では、本町の高齢化率は約 24% で既に超高齢社会に突入しており、こうした交通不便地域の解決や超高齢社会における交通手段の確保については喫緊の課題となっている。

さらに、鉄道や路線バスのサービス水準が低く利用しづらい状況となっているため、これらのサービス水準の向上が望まれている。

このことから、地域の特性・実情に応じた最適な交通手段を将来にわたり確保・維持するため「地域公共交通確保維持改善事業」に取り組むものである。

■寄居町の概況



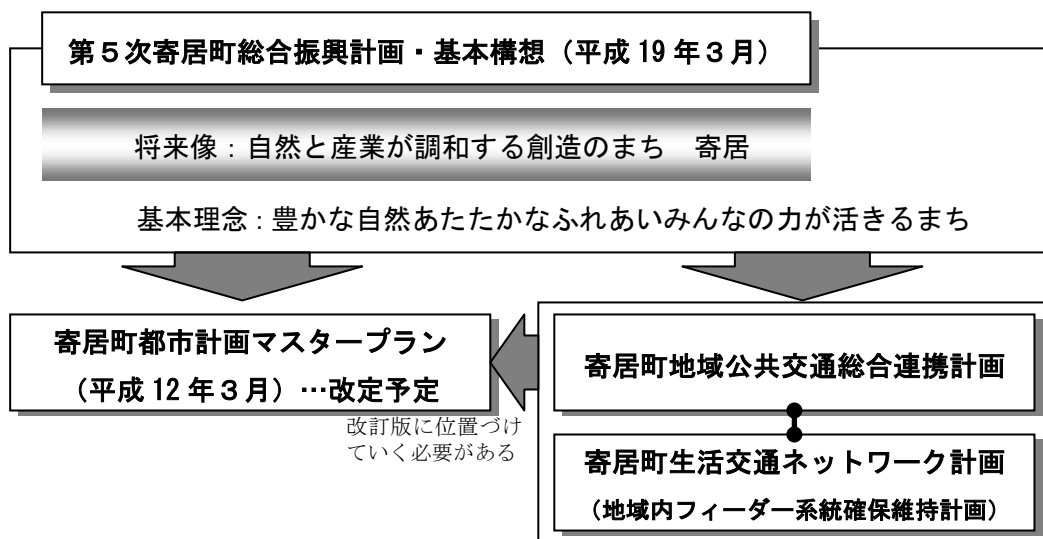
(2) 必要性

本町では、平成 24 年度に公共交通のあり方を示す本町の指針となる公共交通基本計画として「寄居町地域公共交通総合連携計画」を策定している。

この中で、公共交通の維持・促進を図るために 7 項目の施策を展開し、平成 25 年 4 月より デマンド型乗合タクシーによる運行サービスの提供を予定している。

こうした取り組みをより確実に実行し継続していくために、生活交通ネットワーク計画(地域内フィーダー系統確保維持計画)を策定し、地域公共交通確保維持改善事業を推進していくことが必要である。

なお、計画策定にあたって公共交通の課題及び町民の期待度について後述した。



	施 策	具 体 策
施策 1	新たな公共交通手段の導入と利用促進	①デマンド型乗合タクシーの導入 ②健康づくりチャレンジポイント事業への参加 ③割引乗車券による利用促進
施策 2	鉄道サービス向上策の展開	①東上線東松山・寄居間複線化促進期成同盟会の継続協議 ②東上線直通電車の延伸に向けた研究・検討
施策 3	路線バスの利用促進に向けた施策の展開	①低床車両の導入の検討 ②人に優しい車内環境づくりの推進 ③バス停と生活支援施設のコラボレーションの推進
施策 4	交通結節機能の強化策の推進	①主要な乗り換え地点における快適待合空間の整備 ②男衾駅の再構築による交通結節機能の強化
施策 5	モビリティ・マネジメントによる公共交通利用の誘導	①自家用車への依存の低減 ②公共交通マップの作成
施策 6	電気自動車 (EV 車) 等の環境負荷の低い車両の導入	
施策 7	官民の協力体制による公共交通を支えていく「しくみ」の構築	

1) 公共交通の整備課題

本町では、交通不便地域が広く点在していることから、公共交通サービスが不足していることがうかがえる。このため、自動車に依存せざるをえない交通環境となっており、高齢化の急速な進展とともに移動困難者が増加することが予想され、これに対応した交通施策を講じていくことが必要とされている。

〈現況の公共交通サービスにおける課題〉

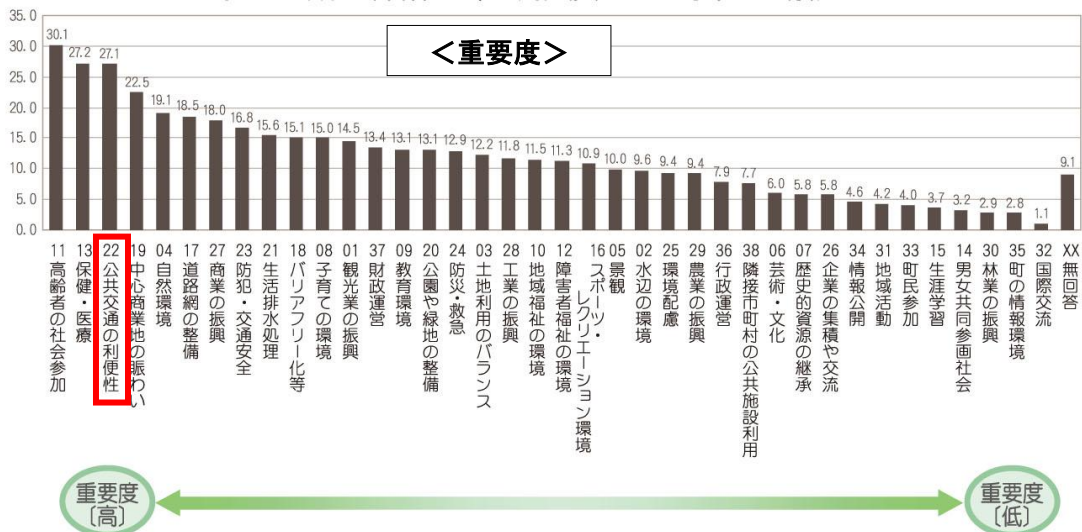
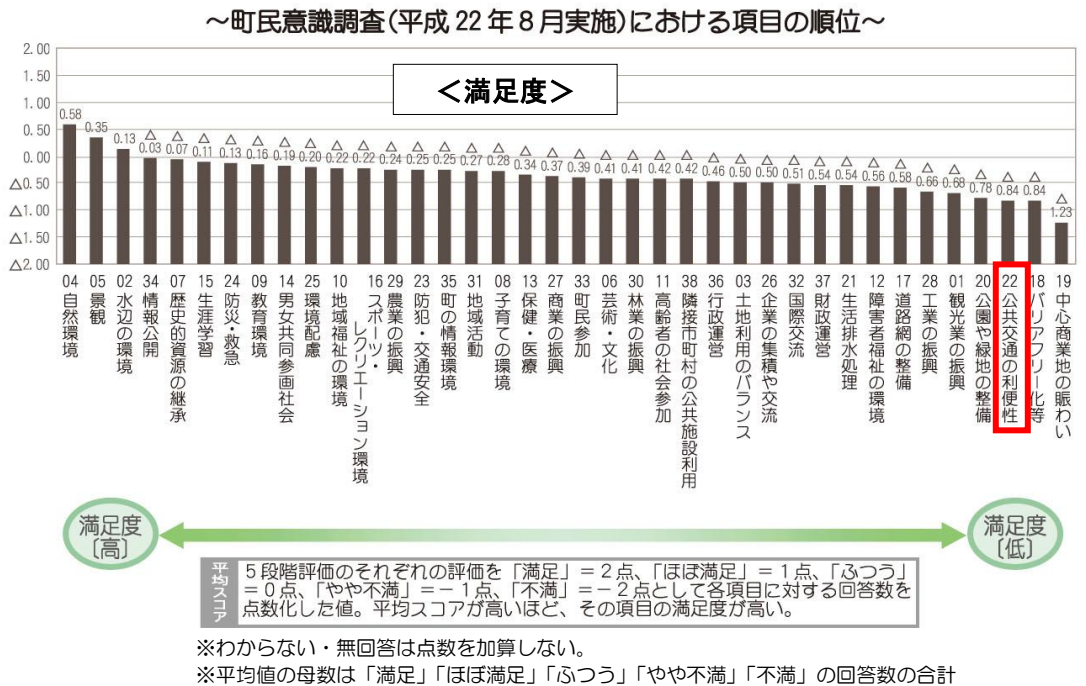
- ① 町域縁辺に交通不便地域が広がっている。
- ② 高齢化の急速な進展に伴い、交通弱者の増加が懸念される。
- ③ 山間部地域の公共交通サービスが空洞化している。
- ④ 鉄道運行のサービス水準が低い。
- ⑤ 路線バスのサービスが低密度で、運行情報が不足している。
- ⑥ 路線バス相互の乗り換え利便性が悪い。
- ⑦ 自動車交通へ過度に依存した交通環境である。
- ⑧ エコタウンの実現に向けた交通環境の改善が求められている。

〈地域住民の日常生活の移動に関する課題〉

- ① 路線バスの利便性が低い。
- ② 鉄道運行サービスが不足している。
- ③ 高齢者の移動特性に応じた交通サービスが無い。

2) 町民の公共交通への期待

平成22年8月に実施した第5次寄居町総合振興計画後期基本計画でのアンケート調査結果によると、公共交通は「町政に対する満足度」では38項目中36位と低く、「暮らしの中で重視する項目」では第3位と高い位置にあり、公共交通への期待が高いものと考えられる。



出典：第5次寄居町総合振興計画後期基本計画

町の施策に関する満足度と重要度

(3) 計画期間

第5次寄居町総合振興計画後期基本計画及び寄居町地域公共交通総合連携計画の計画期間並びに地域公共交通確保維持改善事業の補助対象期間との整合を考慮し、平成25年度から平成28年度の4カ年の計画とする。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業目標

「寄居町地域公共交通総合連携計画」で掲げた目標の実現に向け、地域公共交通確保維持改善事業に取り組んでいく。

1) 基本方針

- ①高齢者の自立的日常移動を支援する。
- ②需要特性に応じた新たな輸送手段を提供する。
- ③町内を面的にカバーする新たな移動手段の提供による交通不便地域の解消

2) 基本目標

- ①主要な商業施設や医療施設へ町内全域からアクセスできる公共輸送サービスを提供する。
- ②人口集積が小さな地区であっても幹線交通軸に接続する一つの公共交通サービスを確保する。
- ③公共交通機関相互のサービス水準は、「タクシー > デマンド > 現行バス」を原則とする。
- ④環境にやさしいクリーンエネルギー車両の導入を図る。

3) 数値目標

基本目標を具現化するための数値目標は、以下のように設定する。

目 標		現 状 (基準年)	数 値 目 標			
			H25年度 25.4～25.9	H26年度 25.10～26.9	H27年度 26.10～27.9	H28年度 27.10～28.9
目標1	公共交通に関する満足度（平均スコア）の向上	-0.84 H22年度	—	—	—	1.0
目標2	デマンド型乗合タクシー利用者数の増加	20人/日 H24年度	25人/日	30人/日	40人/日	50人/日
目標3	デマンド型乗合タクシーの収支率	9 % H24年度	12%	15%	20%	24%

【目標1：公共交通に関する満足度（平均スコア）の向上】

- ・平成29年度は寄居町総合振興計画の更新年度で、平成27年度に町政に対するアンケート調査が実施される見込みである。
- ・現状（平成22年度）の満足度（平均スコア）は、-0.84ポイントで平均して「やや不満」と評価されている。
- ・本計画に基づく事業を実施することにより、町民から「ほぼ満足」の評価を獲得することを目標とし、数値目標を1.0とした。

【目標2：デマンド型乗合タクシー利用者数の増加】

- ・実証運行では、1日平均20人程度の利用である。
- ・1運行40分程度（送迎時間含む）と想定すると、1日運行可能回数は、12回/台である。
- ・平均乗車人員を1.5人/台とすると、利用者数は50人/日となる。
(3台×12運行×1.5人/台=54 ⇒ 50人/日)
- ・計画最終年度に、こうした状況になることを目標に、各年度平均的な利用者増を見込んで各年度の数値目標を設定した。

【目標3：デマンド型乗合タクシーの収支率】

- ・目標2（デマンド型乗合タクシー利用者数の増加）に準拠し収支率を設定した。

(2) 事業効果

基本目標を達成することにより、次の効果が期待できる。

〈期待される効果〉

- 町域に広く分布する交通不便地域の解消
- 公共交通サービスの満足度の向上
- 効果的・効率的な運行による持続性のある生活交通の確保
- 高齢者等の外出範囲・機会の増加と健康の維持増進
- 施設利用（公共施設や商業施設等）の増加による都市活力の向上

3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行システムの概要及び運行予定者

(1) 運行概要

1) 運行方式

○フルデマンド運行

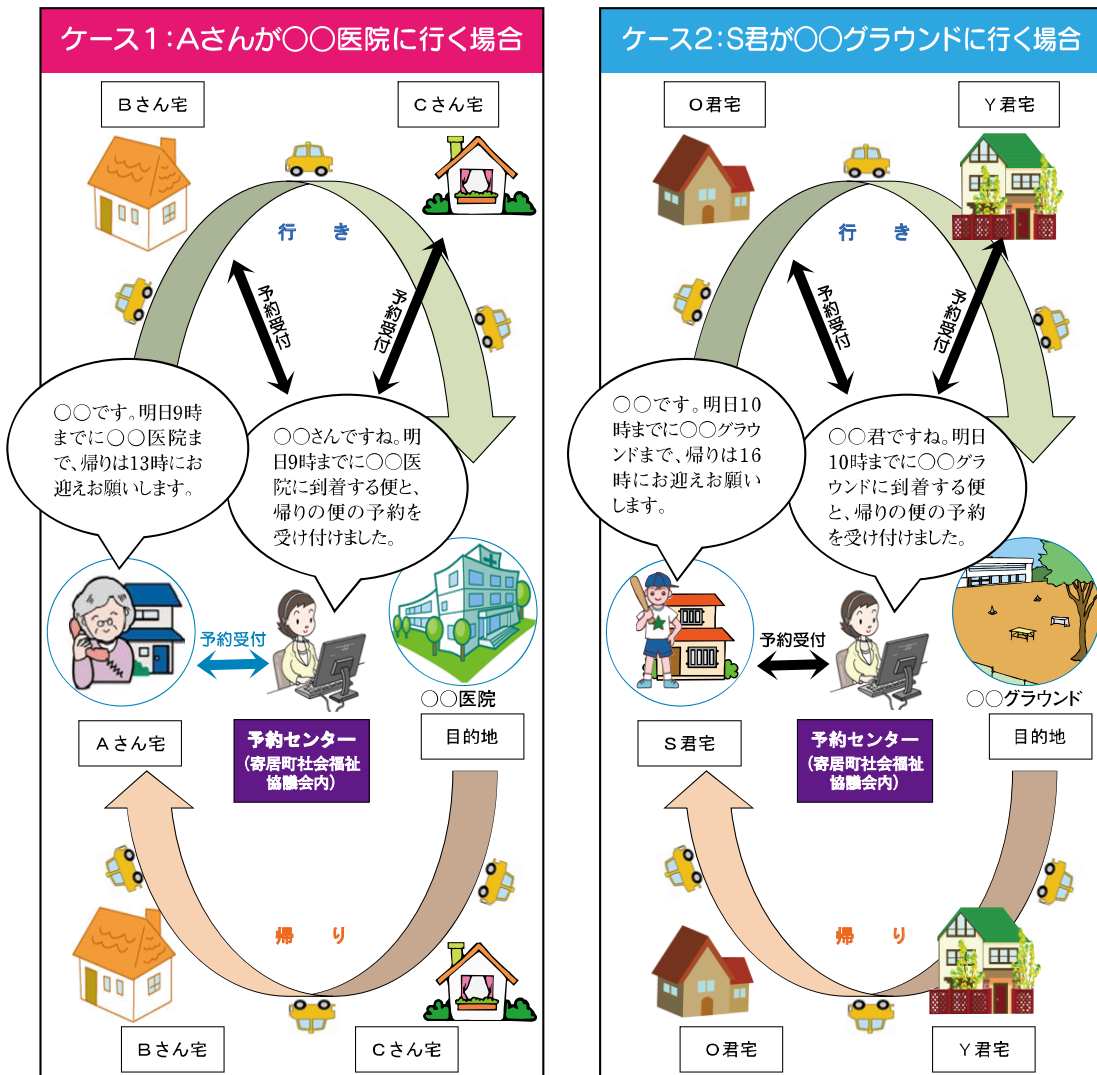
路線、運行時刻を定めず、運行エリア内を利用者の要求に応じて最大限の乗り合いを行うよう予約により運行する。

■デマンド交通のイメージ



※デマンド交通とは
路線、運行時刻を定めず、運行エリア内を利用者の要求に応じて最大限の乗り合いを行うよう予約により運行するもの。

■デマンド交通の利用方法



2) 運行日

○毎日運行（ただし、年末年始（12/29～1/3）は運休）

3) 利用時間

○8：00～17：00

午前8時00分の乗車から対応し、最終降車を午後5時00分とする。

○主に高齢者の昼間時移動を支援する（通院、買い物等）。

4) 乗者料金

○一律定額 300円

未就学児の利用は、保護者1人の同乗につき1人を無料とする。

5) 運行車両（規模・台数）

○車両タイプ：セダン（乗客定員4名）

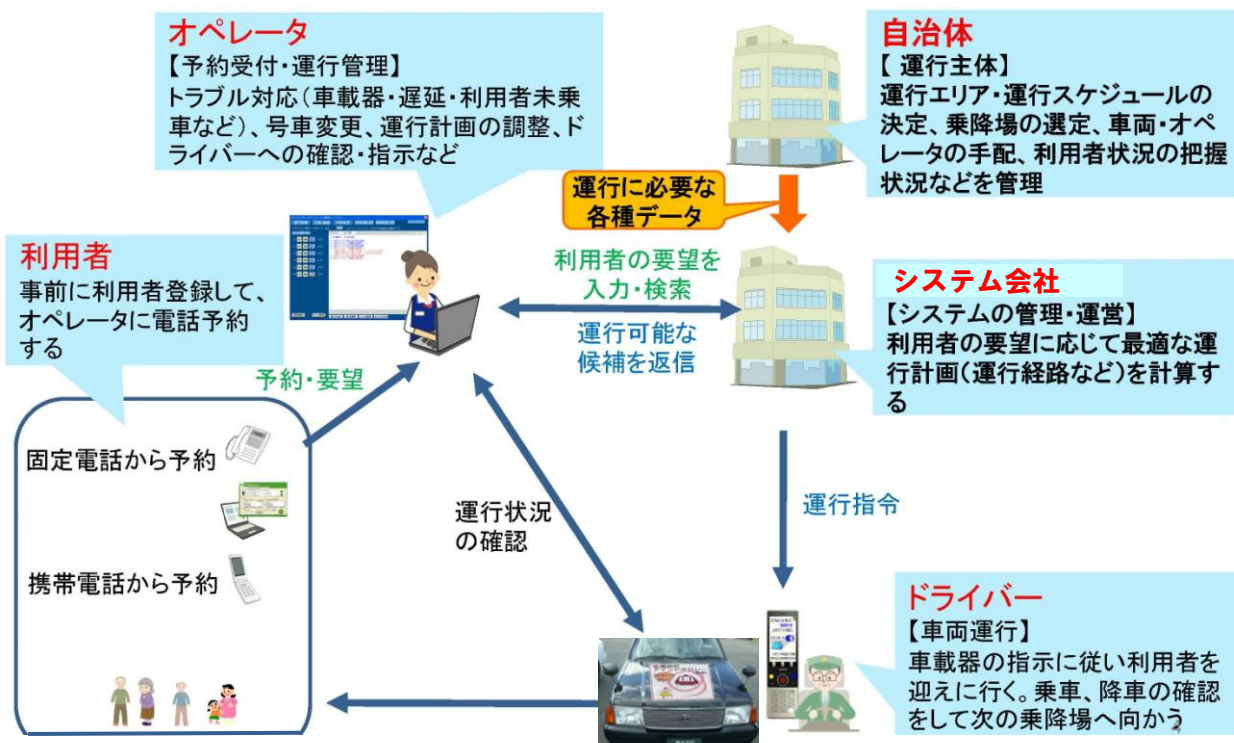
○車両台数：3台（+予備車両3台）

○車両は一般乗合旅客自動車運送事業と一般乗用旅客自動車運送事業とで併用できるものとする。

※一般乗合旅客自動車運送事業として使用する時間（午前8時00分の乗車に対応し、午後5時00分の降車に対応する時間までとする。）

※一般乗用旅客自動車運送事業として使用する時間（上記以外の時間とする）

[デマンド運行関係図]



6) 運行区域

- 寄居町全域を運行

7) 乗降場

- 共通乗降場

(主な集客施設に設置：公共施設、病院、商業施設、駅等)

- 自宅前あるいはその付近 (利用登録者が乗降場として設定)

8) 利用対象者

- 全町民 (一人で乗降が可能な方)
- 利用者は事前の登録が必要

9) 予約受付

- 寄居町社会福祉協議会内の予約センターで受け付けを行う。
- 予約受付期間：利用日の1週間前から前日まで
※平成25年5月からは、利用日の1週間前から利用時間の1時間前まで
- 予約受付時間：8：00～17：00 (運行時間内)

(2) 運行期間

- 平成25年4月1日から

(3) 運行予定者等

1) 事業主体

- 寄居町

2) 運行主体

- 一般乗合旅客自動車運送事業の許可を取得した者
※町内に本店、支店または営業所を有する一般乗合旅客自動車運送事業者の中から町が別途選定する。

4. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

平成25年度（H25年4月1日～H25年9月30日、半年間）

単位：千円

事業の名称	総事業費 ①	収入額（運賃）②	行政負担額①－②
デマンド型乗合タクシー	11,111	1,372	9,739

平成26年度（H25年10月1日～H26年9月30日）

単位：千円

事業の名称	総事業費 ①	収入額（運賃）②	行政負担額①－②
デマンド型乗合タクシー	22,222	3,231	18,991

平成27年度（H26年10月1日～H27年9月30日）

単位：千円

事業の名称	総事業費 ①	収入額（運賃）②	行政負担額①－②
デマンド型乗合タクシー	22,222	4,308	17,914

平成28年度（H27年10月1日～H28年9月30日）

単位：千円

事業の名称	総事業費 ①	収入額（運賃）②	行政負担額①－②
デマンド型乗合タクシー	22,222	5,400	16,822

※各年度の総事業費及び収入額は試算値である。

※国から運行事業者へ地域公共交通確保維持改善事業費補助金が交付された場合は、上記行政負担額から当該補助金額を控除した額が町の行政負担額となる。

[運賃収入等の算定根拠]

事業年度	事業費 (円)	日平均 利用者数 人/日	運賃単価 円/人	運行日数 日	運賃収入 円	行政負担額 円
H25年度	11,111,000	25	300	183	1,372,500	9,738,500
H26年度	22,222,000	30	300	359	3,231,000	18,991,000
H27年度	22,222,000	40	300	359	4,308,000	17,914,000
H28年度	22,222,000	50	300	360	5,400,000	16,822,000

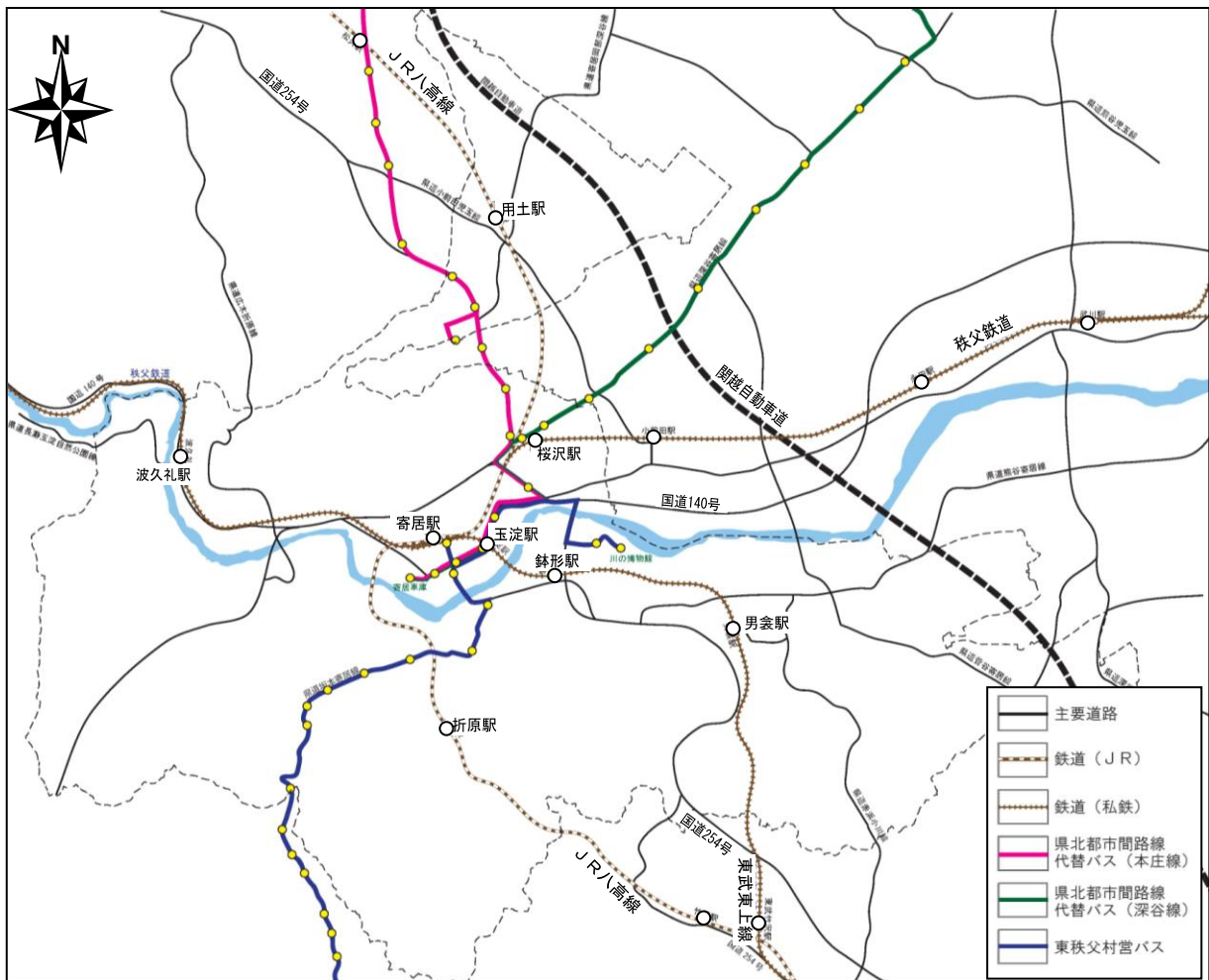
5. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

(1) 公共交通ネットワークの現状

本町の公共交通ネットワークは、寄居駅を中心に広がっており、鉄道は東西方向に秩父線、南北方向に東武東上線、J R八高線が存在する。また、路線バスは、南北方向に縦貫しているものの東西方向のルートはない状況である。

なお、町城南東部や南西部の山間部は公共交通サービスが行き届いていない状況であり、こうした地域の足の確保が必要とされている。

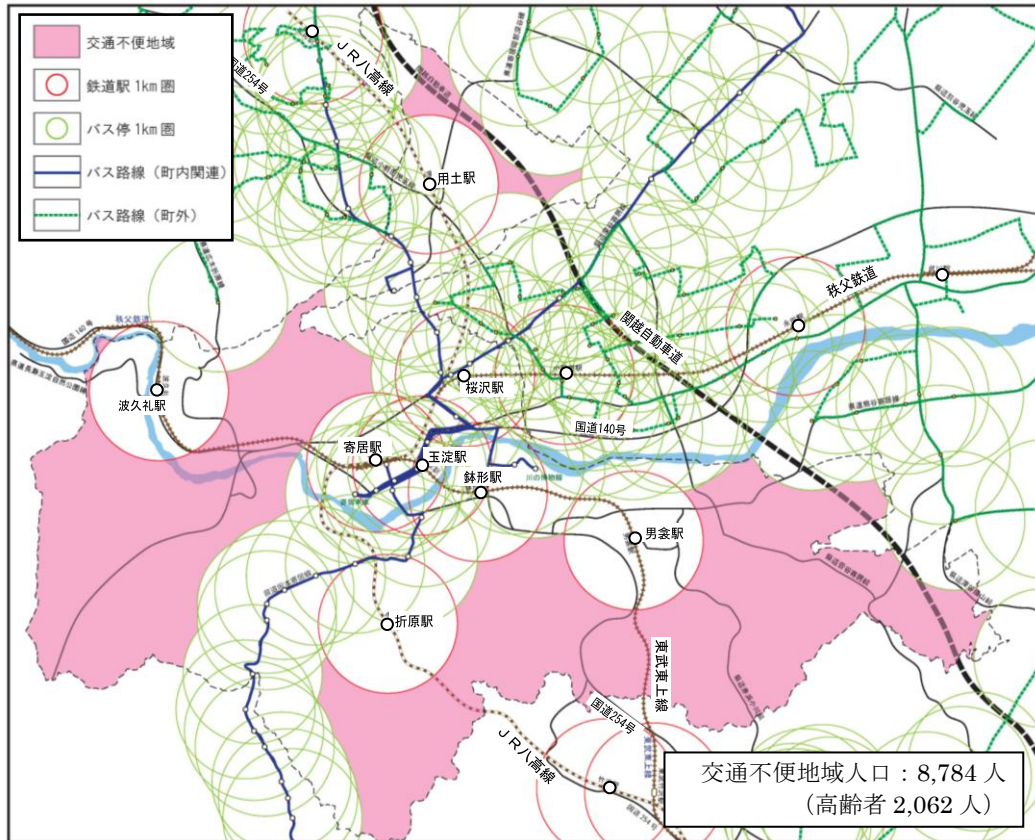
■現況公共交通ネットワーク



(2) 交通不便地域の状況

鉄道サービス圏域を駅から1km圏、バスサービス圏域をバス停から1km圏と捉える(下図)と、本町の交通不便地域は、西部の山間部と東側の男衾地区が抽出される。

■交通不便地域の分布状況



(出典:平成22年国勢調査)

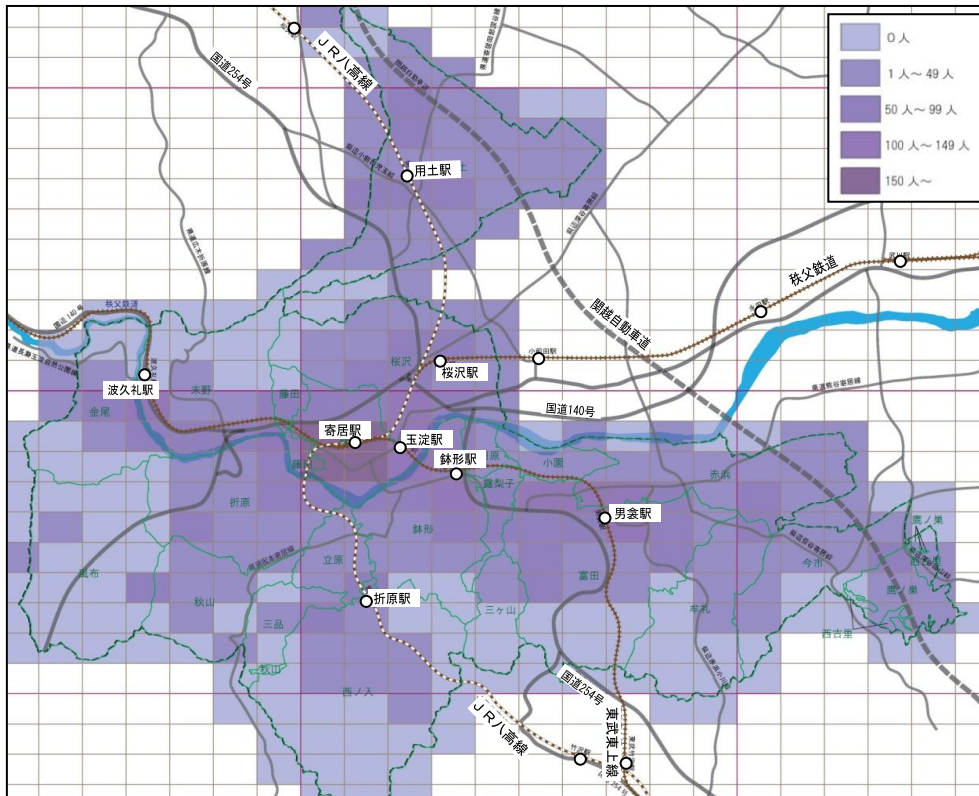
[交通不便地域人口の内訳]

字名	H22国調人口 (人)		建物数 (棟)			交通不便地域人口 (人)		
	総数	高齢者人口	総数	不便地域内建物数	不便地域比率	総数	高齢者人口	構成比
寄居	4,940	1,427	4,267	37	0.9%	43	12	0.6%
藤田	649	134	463	165	35.6%	231	48	2.3%
末野	1,685	534	1,687	907	53.8%	906	287	13.9%
金尾	319	101	564	91	16.1%	51	16	0.8%
風布	134	54	440	440	100.0%	134	54	2.6%
桜沢	4,771	1,035	3,980	71	1.8%	85	18	0.9%
折原	893	293	1,230	393	32.0%	285	94	4.6%
立原	416	107	625		0.0%	0	0	0.0%
秋山	248	131	372	42	11.3%	28	15	0.7%
三品	122	31	244		0.0%	0	0	0.0%
西ノ入	926	245	1,224	533	43.5%	403	107	5.2%
鉢形	3,898	819	3,153	167	5.3%	206	43	2.1%
露梨子	725	151	578	142	24.6%	178	37	1.8%
三ヶ山	282	60	324	324	100.0%	282	60	2.9%
保田原	524	133	616		0.0%	0	0	0.0%
小園	171	44	372		0.0%	0	0	0.0%
富田	5,556	1,269	4,158	1,644	39.5%	2,197	502	24.3%
赤浜	3,007	634	2,619	1,109	42.3%	1,273	268	13.0%
牟礼	1,051	178	902	902	100.0%	1,051	178	8.6%
今市	677	131	1,056	945	89.5%	606	117	5.7%
鷹巣	200	59	272	181	66.5%	133	39	1.9%
西古里	59	22	129	33	25.6%	15	6	0.3%
用土	4,521	1,077	4,405	660	15.0%	677	161	7.8%
合計	35,774	8,669	33,680	8,786	—	8,784	2,062	100.0%

(3) 高齢者（65歳以上）の分布状況

高齢者人口分布（500mメッシュ）をみると、寄居駅周辺を始めとして鉄道沿線に高齢者人口が多く、比較的広く分布していることがうかがえる。

■ 高齢者人口分布状況



(出典：平成 22 年国勢調査)

6. その他

(1) 協議会開催状況

会 議 開 催	協 議 議 題
平成23年度第1回 平成23年12月19日（月）	(1) 平成23年度寄居町地域公共交通活性化協議会事業計画(案)について (2) 平成23年度寄居町地域公共交通活性化協議会歳入歳出予算(案)について
平成24年度第1回 平成24年4月24日（火）	(1) 平成23年度寄居町地域公共交通活性化協議会事業報告について (2) 平成23年度寄居町地域公共交通活性化協議会決算について (3) 平成24年度寄居町地域公共交通活性化協議会事業計画について (4) 平成24年度寄居町地域公共交通活性化協議会予算について (5) 平成24年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業）交付申請について (6) 地域公共交通総合連携計画策定業務委託業者の選定について
平成24年度第2回 平成24年7月20日（金）	(1) 公共交通に関するアンケート調査の実施について (2) 寄居町デマンド交通実証調査計画について (3) 寄居町デマンド交通実証調査業務委託に係るプロポーザル実施要領について (4) 寄居町デマンド交通実証調査業務委託仕様書について (5) 寄居町デマンド交通実証調査業務委託業者選定審査委員会設置規程について (6) 寄居町デマンド交通実証調査業務委託業者選定審査基準表について (7) 寄居町デマンド交通実証調査予約受付等業務委託仕様書について (8) 寄居町デマンド交通実証調査予約受付等業務委託業者について
平成24年度第3回 平成24年8月27日（月）	(1) 寄居町デマンド交通実証調査に係る町民説明会の実施について (2) 寄居町デマンド交通実証調査に係る利用者アンケートの実施について
平成24年度第4回 平成24年12月14日（金）	(1) 寄居町地域公共交通総合連携計画（案）について ～計画の構成、公共交通の現状及び課題、基本方針等について～
平成24年度第5回 平成25年1月10日（木）	(1) 寄居町デマンド型乗合タクシーの本運行について (2) 寄居町地域公共交通総合連携計画（案）について ～目標達成の施策、実証運行、実現化に向けて～ (3) 寄居町デマンド型乗合タクシーの愛称募集について
平成24年度第6回 平成25年2月4日（月）	(1) 寄居町生活交通ネットワーク計画について

(2) 利用者等の意見の反映

実施時期	実施内容	実施目的	備考
H24年8月10日～ H24年8月31日	寄居町の公共交通に関するアンケート調査	○公共交通の現状や利用実態などを把握し今後の公共交通の方向性を定める基礎資料とする。	回収率36.4% 2,000票配布 727票回収
H24年9月24日～ H24年10月2日 全7回	デマンド交通実証調査に係る町民説明会	○公共交通やデマンド交通実証に関する要望・意見等を直接町民から拝聴し、地域公共交通総合連携計画や生活交通ネットワーク計画の策定に反映させる。	7地区に分割し各地区で説明会を開催 出席者数147名
H24年11月1日～ H25年3月31日	デマンド交通実証調査に係る利用者アンケート	○公共交通に関する要望・意見等をデマンドタクシー利用者から拝聴する。 ○デマンド交通実証調査（テスト運行）の改善点等を把握する。	11月：36票 12月：54票 1月：45票

(3) 協議会メンバーの構成

委員区分		氏名	団体名等
1号委員	一般乗用旅客自動車運送事業者	本間 政道	有限会社本間タクシー代表取締役
	一般乗用旅客自動車運送事業者	舟越 章子	寄居タクシー有限会社代表取締役
	一般乗用旅客自動車運送事業者	嶋田 実	秩鉄タクシー株式会社代表取締役
	一般乗用旅客自動車運送事業者	松本 岳士	株式会社桜交通代表取締役
	一般乗用旅客自動車運送事業者	福島 博幸	大信観光花園有限会社代表取締役
	一般貸切旅客自動車運送事業者	齋藤 勝	武蔵観光株式会社常務取締役
2号委員	一般乗用旅客自動車運送事業者が組織する団体の代表者	高原 昭	埼玉県タクシー協会専務理事
3号委員	町民代表	内田 勝則 鳥塚 健	寄居町連合区長会長（平成23年度） 寄居町連合区長会長（平成24年度）
	町民代表	池田 和男	寄居町民生委員・児童委員協議会長
	町民代表	坂本新三郎	寄居町身体障害者福祉会長
4号委員	国土交通省関東運輸局 埼玉運輸支局	関根 肇	埼玉運輸支局 総務企画担当 首席運輸企画専門官
5号委員	寄居町副町長	白川 充	寄居町副町長
6号委員	熊谷県土整備事務所	間篠 周一	熊谷県土整備事務所管理担当課長
	寄居警察署	相馬 文寿	寄居警察署交通課長
	学識経験者	久保田 尚	埼玉大学大学院理工学研究科教授
	埼玉県企画財政部	小高 巖 山田 貴志	企画財政部交通政策課主幹（平成23年度） 企画財政部交通政策課主幹（平成24年度）
	東秩父村総務課	根岸 義和	東秩父村総務課長
	寄居町総務課	今村 幸男 轟 幸男	寄居町総務課長（平成23年度） 寄居町総務課長（平成24年度）
	寄居町商業観光振興課	関根 薫	寄居町商業観光振興課長